

Title	第九回早慶連合史學會
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1961
Jtitle	史学 Vol.34, No.1 (1961. 7) ,p.120- 120
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19610700-0120

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ないのである。

このようなときに、河幡教授の著書の印行は學界に貢献し、同學復興に役立つたは勿論である。筆者は若い頃に山科流の衣紋道を幾分心得、また即位の大禮等に奉仕したので、記述内容にいささか不備はあつても、誤りと考えられるところはないので、初學の人に肯て購讀を勧めるものである。叙述は左の綱目である。

序説—官職位階—服飾—甲冑—行事—重要な典例—殿舎—調度—乗物—娛樂武技

なお、附錄として

重色目表—公家—覽表—参考文献目録—索引

序でにこの有職故實學は宮廷の行事を中心とし官職服飾調度の類等を研究する學問で、自ら宮廷史の主要な部門であれば、これを幾分なりとも習得して、始めて宮廷史の概略を知得し、公家の日記更に源氏物語の記述が判るのである。戰前に既に宮内省圖書寮では、有職故實調查部を設けて、故櫻井秀博士、著者、等がこの調査に當り、史料も相當に蒐集整理されつゝあつたが、終戰によつて解散のまゝとなつた。それでこれをどこかでか復興し、この事業を連續し、漸次に圖版と共に平易に記述印行を望むものである。

(武田勝藏)

彙報

第九回早慶連合史學會

早慶連合史學會も第九回を迎えたが、本年からは春季に行うことになり、昭和三十六年六月二十四日午前九時三十分より早稻田大學小野記念講堂において開催された。

〔研究發表〕

メロヴィング時代の教會と社會

ドンソニア・青銅器文化の起源地域

野口洋二（早大）
近森正（慶大）

西夏の河西進出について

長澤和俊（早大）

オックスフォードのアリストテレス禁令について

坂口昂吉（慶大）

〔公開講演〕

近世貨幣史研究の課題

中井信彦（慶大）

中井氏の公開講演は午後一時半から早大荻野三七彦教授の司會で行われたが、その要旨は追つて本誌上に掲載される予定である。なお終了後大隈會館においてパーティが開かれ、兩校の出席者の交歓が行われた。